

繋げよう! 安心、安全、信頼の輪

Z E N S H O K Y O

全 商 協

全国遊技機商業協同組合連合会広報誌

7 JULY
2012
VOL.10



特集■第24回通常総会 中村体制2年目の始動
特別インタビュー■木原一雄 自工会相談役

Z E N S H O K Y O
全 商 協
全国遊技機商業協同組合連合会広報誌
 CONTENTS 7 JULY 2012
 VOL.10



東京・浅草ほおずき市
 鮮やかな赤と緑の間に垣間見えた
 少女のきれいなうなじ
 真夏の日射しの下で
 江戸の粋がいきづいていた

- 1** 特集 第24回通常総会
- 4** 記者会見開催 不正抑止のために
- 6** 全組合で、顔認証システム導入
- 7** 特別インタビュー 木原一雄 自工会相談役
- 10** 理事会報告
- 11** ボランティア活動報告 南三陸町からのレポート
- 12** 達つぁんの辛口コラム
- 13** 役員さん登場！ 小島利幸 理事
- 16** Mail Box 東遊商が50周年記念式典を開催
- 18** 地区遊商だより Vol.6 総会特集
- 20** 環境フォーラム+ もっと楽しく遊べる!! パチンコ&パチスロフェスタ2012
- 21** 業界NEWS・編集後記

第24回通常総会開催

中古機流通システムの向上に 8単組が一致団結して取り組む

全国遊技機商業協同組合連合会（全商協）の第24回通常総会が、平成24年6月20日、KKRホテル東京にて開催された。

中村昌勇会長は「全組合員に対するコンプライアンスの徹底、

取扱主任者の点検確認作業の技術レベルを全国的に引き上げるなどして、

セキュリティ強化を図り、8単組の全組合員が一丸となつて、

中古機流通システムのさらなる向上を目指します」と開会挨拶を行った。

行政当局による来賓祝辞として、

警察庁生活安全局保安課長・古谷洋一様より

次のようなご挨拶を頂いた。（代読 玉川達也課長補佐）



全国遊技機商業協同組合連合会
会長 中村昌勇



議長の松原副会長と副議長の高橋副会長



「全国遊技機商業協同組合連合会の平成24年度通常総会にお招きいただいたことに厚く御礼申し上げます。また、御列席の皆様におかれましては、平素から警察行政の各般にわたり、深い御理解と御協力をいただいておりますことに対しまして、この席をお借りして厚く御礼申し上げます。

また、昨年の東日本大震災に伴う電力不足への対応につきまして、当庁から貴連合会を含むパチンコ・パチスロ産業21世紀会に對しまして節電への御協力を要請いたしましたところ、業界を挙げて真摯な対応をしていただきました。本年も電力需要の高まる夏場に向け、依然として電力不足が懸念されているところであり、その克服には、契約電力の大小を問わず、

各企業の皆様の着実な取組が不可欠です。皆様には引き続き、節電に向けた取組に御理解・御協力をお願いいたします。

さて、ばちんこ業界では、これまでも不況の波を受けながら、1円ばちんこに代表される低貸玉営業の導入や、より射幸性を抑えた遊技機の開発等の様々な営業努力を通じ、幅広い年齢層のお客さんが、手軽に安く安心して遊べるよう、営業の健全化に向けて尽力してこられました。

しかしながら、他方では、のめり込みに起因すると思われる各種問題や遊技機の不正改造事犯、違法な方法による賞品提供・広告宣伝等が依然として後を絶たないなど、健全化を阻害する要因が残されていることも事実です。

動を一層推進していただきたいと考えています。

また、貴連合会におかれましては、中古遊技機の点検確認について、無資格者が有資格者から機材を借り受けて点検確認を実施する、いわゆるなりすまし事案を根絶するために、

顔認証システムの導入を推奨され、結果、本年4月までに全ての単組において、同システムが導入されるなど、中古遊技機流通制度の厳正な運用に尽力されていると承知しており、当庁としても、その取組に大いに期待しているところであります。

今後、貴連合会を含めたばちんこ業界が一致団結して、国民から親しまれる健全な娯楽となるための取組を一層推進されることを心から期待しております。

警察といたしましても、不正改

造を含め各種法令違反には厳正に対処するとともに、業界の健全化に向けた取組に対して、可能な限り支援していきたいと考えています。

最後になりますが、貴連合会の更なる御発展と、皆様方のますますの御健勝、御多幸を心より祈念申し上げます。



警察庁生活安全局保安課課長補佐 玉川達也様

引き続きこうした問題一つ一つに取り組み、ばちんこ業界から不正を排除するとともに、ばちんこ遊技が、若者から老年寄りまで幅広い年齢層の方に親しまれるような健全な大衆娯楽になるための活



総会決議文を読み上げる石山副会長

2012年(平成24年)上半期の出来事(1月~6月)

【テレビ会議を利用して各委員会を開催】

- 1月** 第5回機械対策委員会が、テレビ会議により開催された
QRシステムの改善、各組合における「顔認証システム」導入の進捗状況などについて報告
- 第4回中古機流通作業部会が、全商協会議室で開催された
中古移動及び認定作業時の料金等について協議
- 2月** 第76回中古機流通協議会が、全商協会議室で開催された
確認証紙の発行枚数などについて報告
また、取扱主任者の点検確認作業、ホール管理者の立会の実施について報告
- 第8回定例理事会が、宮崎市で開催
セキュリティ委員会等、各委員会からの報告が行われた。
平成23年度の決算時の見込み、機構負担金等について報告
- 第6回機械対策委員会が、テレビ会議により開催された
前回同様、QRシステムの改善等について協議
- 3月** 「顔認証システム」導入のための研修会が、各地区遊商で行われた(東日本・中部以外)
- 第9回定例理事会が、全商協会議室で開催された
機械対策委員会等、各委員会からの報告
東北遊商・関西遊商が南三陸町へのボランティア活動について、それぞれ報告
- 【全地区遊商で顔認証システムを導入開始】**
- 4月** 全地区遊商で、中古機流通における「顔認証システム」の導入を開始
取扱主任者による確実な点検確認を進める
- 第1回機械対策・セキュリティ合同委員会が、テレビ会議により開催された
取扱主任者のペーパー試験の統一、中古・認定書類の表紙への押印などについて協議
- 第77回中古機流通協議会が、全商協会議室で開催された
中古・認定書類の表紙への押印について、経過を報告
- 第4回リサイクル・環境対策委員会が、全商協会議室で開催された
各組合におけるクールビズなど、環境への取り組みについて報告
- 5月** 8組合において、通常総会が順次開催された
東日本遊商では、組合創立50周年記念式典などが盛大に
- 第1回セキュリティ委員会が、テレビ会議により開催された
取扱主任者の実技講習会の運営、ホールの駐車場における子供事故防止活動などについて協議
- 第1回定例理事会・臨時総会が、全商協会議室で開催された
関西遊商の笠松義清氏の理事辞任に伴い、松川博光氏が新たに理事に選任
- 第1回事業・広報委員会が、テレビ会議により開催された
秋に予定している第3回全商協会長杯チャリティーゴルフコンペ等について協議
- 【中村会長による2年目の全商協活動が始まる】**
- 6月** KKRホテル東京にて第24回通常総会が開催、中村会長による2年目の全商協がスタート
平成23年度事業報告書・決算関係書類・平成24年度収支予算などが承認
また、同日、中村会長・副会長等合計9名による「中古機流通における不正対策」の記者会見



開会を宣言する遠藤副会長

第24回通常総会は、遠藤重廣副会長の開会の辞から開始され、中村昌勇会長が、次のように挨拶を行った。

「昨年6月からスタートした全商協新体制のもと、各地区遊商では重点事業である中古機流通での不正防止と健全化への取り組み、これらの業務を担当する有資格者への啓蒙、教育活動を積極的に継続して行い、コンプライアンスの徹

底、点検確認作業の技術レベルを全国的に引き上げるなどさらなるセキュリティ強化を図ります。そのためには、全組合員に対する法令遵守の指導、教育、研修を始め、取扱主任者の責任ある点検確認作業が求められます。全商協傘下の組合員が丸となってこの命題に取り組み、全商協の流通システムのさらなる向上を目指します。また、廃棄台リサイクルの適正な処理の励行を推進し資源の無駄を省き、不法投棄を絶対に許さない取り組みを進めなければなりません。震災復興支援や社会貢献活動も業界としての責務であり、その取り組みは今後も継続してやらなければならない重要な課題です」

続いて総会は、松原陽輔副会長(中国遊商)が議長、高橋一則副会長(東北遊商)が副議長となり、第1号議

案「平成23年度事業報告書並びに決算関係書類の承認に関する件」、第2号議案「平成24年度事業計画並びに収支予算の承認及び賦課金徴収決定に関する件」、第3号議案「役員(員外)の報酬に関する件」が上程され、すべて可決・承認された。

最後に石山敬達副会長(九州遊商)が、

一、安全・安心な

中古遊技機流通事業の推進

一、セキュリティ対策の一層の強化

一、使用済み遊技機の

適正処理の推進並びに

環境対策を通じた

循環型社会の形成

といった総会決議文を読み上げ、

第24回通常総会は滞りなく閉会した。

なごやかに

総会懇親会

総会終了後、会場を移し懇親会が開催された。

冒頭、中村会長は、「就任して

1年、スピーディーな対応を掲げて、スケジュールを追いかけるように過ごしました。これからの1年は、じつくりと腰を据え、8単組がよく話し合い、皆様のお役



全日遊連・原田理事長(当時)



日遊協・深谷会長



推進機構・伏見専務理事



日工組・石橋副理事長

に立てる、信頼される全商協をつくっていきけるよう頑張っていきたい」と意気込みを述べた。

多数の来賓を代表して、全日本遊技事業協同組合連合会・原田實理事長(当時)より次のようなご挨拶を頂いた。

「中古機流通制度が機械代の低コスト化に寄与し、厳しい経営環境下でもホールは健全な営業が保てています。

ばちんこ産業が、健全な大衆娯楽産業である、その真の姿を見せて欲しいと、今、言われています。今後もさらなる健全化を、パチンコ・パチスロ産業21世紀会を組織する各団体で協力して推し進めて下さい」

続いて、日本遊技関連事業協会・深谷友尋会長が次のように挨拶を行った。

「日頃の遊技機取扱主任者制度と販売業者登録制度へのご支援に感謝します。業界は原点に帰り、いろいろな不具合を整理して新たなステージをつくり、前を向いて発展していきたい」

さらに、遊技産業健全化推進機構・伏見専務理事からも、健全な流通事業に向けた活動に対し励

総会に先立ち記者会見を開催 不正対策への強い姿勢示す



6月20日の通常総会の前に、KKRホテル東京で、全商協会長・副会長等9名による業界誌への記者会見が開かれた。

会見では、中村会長から、平

成23年1月に地区遊商のQRシステムのサーバーに不正にアクセスし、情報を入力したとして「不正アクセス行為の禁止等に関する法律違反」等の疑いで警視庁に逮捕、起訴されたソフト



総会懇親会ではにぎやかに歓談の輪が広がった(左から日電協・里見理事長、回胴遊商・伊豆理事長、全日遊連・原田理事長、衆議院議員・平沢勝栄氏、中村会長、日遊協・深谷会長、全日遊連・金本副理事長)



乾杯の音頭をとる日工組の石橋副理事長

ましの言葉を頂戴した。
その後、日本遊技機工業組合・石橋保彦副理事長が乾杯の音頭をとり、歓談に入った。
宴もたけなわとなった頃、中村会長の指名により、回胴式遊技機商業協同組合・伊豆正則理事長からもご挨拶を頂戴し、懇親会は盛会のうちに終了した。

会社役員及び、このソフト会社役員が製造・販売した遊技機の製造番号のコピー(QRコード)を用いて地区遊商から中古移動申請書類を騙し取ったとして逮捕・起訴された組合販社役員の両2名について、本年4月に東京地裁で判決が下され、5月に刑が確定したことが報告された。
2名には、「私電磁的記録不正作出・同供用」「詐欺」による懲役刑(執行猶予付)が確定しており、中村会長は、「このような不正事案が発生した事は大変遺憾であるが、全商協及び傘下地区遊商が中古機流通の不正対策に真剣に取り組んでいることを理解していただき、今後の不正行為の抑止とするために会見を開いた」と述べた。
そして「組合の中古機流通事業の中で不正に対し『詐欺罪』が適用された。この事実は重い。今後もQRシステムの適正な運用、また組合員のモラルの向上に全力で取り組み、このような事件が再び起きないよう対策を協議していきたい」と決意を表明した。



中古機流通事業での不正対策に全力で取り組む決意を表明した中村会長以下、副会長7人と専務の全商協幹部役員

全組合で、顔認証システム導入！ 関西遊商講習会ルポ

平成24年4月から、全商協傘下8組合すべてで、中古機流通における「顔認証システム」がスタートした。

従来は、東日本と中部の組合でのみ実施されていたが、今回、全組合で導入する運びとなった。

このシステムにより、取扱主任者が中古遊技機の点検確認を実施する時は、自分の顔写真を所属する組合に専用端末を使って送信し、本人であることが認証される。これにより「取扱主任者本人が、業務を行っている」ということが、デジタルを使い立証されると同時に、資格のない者が点検確認を行

うことを防止できる。

各組合では導入に当たり、数回にわたり講習会を実施して、顔写真の撮り方や作業手順を取扱主任者に説明した。

また、なぜこのシステムの導入が必要になったのかといった経緯を報告し、各自が当事者として責任をもって業務を行うよう指導した。

その一つである関西遊商の講習会の様子を取材した。

関西遊商では、顔認証システムの導入にあたり、今年始めから、全取扱主任者を対象に講習会を実施した。

講習会の内容は、顔認証システムの説明と点検確認技能のレベルアップを目的とした実技講習と実技試験、講義講習と筆記試験となっていた。

実技講習に関しては、専門のセキュリティ会社社に監修を依頼し、27項目の点検確認項目と確認方法の詳細説明を行い、実技試験では事前に不正が仕込まれている遊技機の点検確認を行い、不正箇所がどこにあるかを見つけるという課題も与えられた。取扱主任者は、

セキュリティ会社の社員をホール管理者に見立て、ペンライトを片手に真剣な眼差しで、点検確認作業を実施した。

セキュリティ委員会の森川弘一委員は、「組合では、取扱主任者が点検確認をする際に、位置情報、作業時刻、本人顔写真などを一括管理します。万一、違反があれば

取扱主任者だけではなく、その取扱主任者が所属している販社も責任を負うこととなり、書類発給停止などの処分が下されます。保証書を作成できるという権利を手放さないためにも、不正が一切介在していないことを保証できるように、取扱主任者は、技能を高めてほしい」と呼びかけた。

関西遊商が実施した主任者講習会



ペンライトを当てて不正箇所が無いチェック



顔認証用に貸与した携帯



実機講習での点検確認作業

特別
インタビュー

木原一雄

遊技場
自動サービスマ
工業会

相談役



自動玉貸機など自動サービス機の製造メーカーで構成される自工会。組合員が扱う周辺設備はホールの省力化を実現し、営業を裏から支える存在だ。また、ゴト対策など不正防止や貯玉・再プレイシステムの加盟を前提としたシステムの販売など業界への貢献度は高い。そこで、理事長を勇退された木原一雄相談役に色々とお話を伺った。

● 略歴
きらは かずお
昭和15年9月生まれ。昭和39年3月芝浦工業大学卒業。爾大都製作所入社。現在大都販売協会長。昭和63年2月遊技場自動サービス機工業会設立。副理事長に就任。平成12年6月同会理事長に就任。平成24年5月同会理事長を退任。相談役に就任。

——早速ですが、今年度の総会にて理事長を勇退され、相談役となりました。まずは率直な心境からお話ください。

木原 5月17日の通常総会で古宮重雄新理事長にバトンタッチしましたが、現在の心境は大都販売の社長を辞めた時と似た感覚です。私は日頃から何か問題が発生しますと自然にその対応を考える癖がありますが、いまでも何かありますと自分の責任において対処しようと考えてしまいます。しかし、ハッと我に返ってみますと、いまや私の役目ではないと(笑)。そう思う時は少し寂しい気もしますが、その感覚も時間と共に薄れていくでしょう。

——自工会では平成12年から6期12年にわたり理事長を務めました。が、振り返りますと昭和63年2月の自工会創立時から副理事長を務めるなど永く組合運営に貢献されてきました。過去を振り返りまして印象に残っていることは何でしたか。

ようか。

木原 自工会は、業界内でプリペイドカードシステムの導入問題が浮上したことにより、その受け皿となる団体の必要との機運が高まった事を受けて設立されました。

私も発起人のひとりですが、当時はプリペイドカード化への流れは業界全体を揺るがす大きな問題でした。そのため自工会でもプリペイドカード化にどう対応していくのか様々な角度から議論しました。

また、組合として解決するべき事案として特許の問題もありました。現在はシステムも整備され軌道に乗っていますが、やはり特許保有者の権利を守りながらも組合員が納得するシステムを構築する必要がありますがありました。問題に取り組み始めてからシステムの運用までに長い年月は経ちましたが、後々トラブルが生じないよう急がず時間を掛けて議論しました。

——自工会の組合員は、いわゆる周辺設備メーカーです。自動玉貸機など自動サービス機を通じてホールのオートメーション化に貢献してきましたが、業界内での役割についてはどうお考えですか。

木原 周辺設備にはふたつの役割

があります。ひとつは人件費の節約など経費節減。もうひとつはホールの売上の向上に貢献することです。これまでの業界はホールの多店舗展開により発展してきましたが、その中で周辺設備産業が果たした役割は大きいと思います。自動サービス機による省力化や経費節減がホールの多店舗展開を支え、それが業界発展の一助となったと自負しています。

——業界内でも技術の進歩は目覚ましく、また移り変わりも早いように感じます。

木原 それは、業界が他産業よりも設備投資への意欲が高い産業だからでしょう。これまでは設備投資により、売上や客数の増加など導入効果が見えやすかったと思います。そのためホールも積極的に周辺設備へ投資してきました。周辺設備メーカーも最先端技術をいち早く取り入れ、ホールの需要を喚起しようと製品開発に努力してきてきた結果ではないでしょうか。

——では、業界全体についての感想をお聞きたいと思います。

木原 平成16年7月の規則改正以前は、ホールがパチスロで利益を確保している状況でした。台数比

率もパチスロが年14%程も伸びたこともあり全体の約40%までシェアが高まりました。しかし、パチスロは爆裂機問題もあり規則改正により射幸性が抑制され低迷期を迎えます。このパチスロの復活には相当の時間を擁すると考えていましたが、ホールや各メーカーの努力もあり、結果としては思ったよりも早く回復してきているとの印象です。しかし、その中で懸念している点は、パチンコ・パチスロの比率変更の経費負担や、遊技機の価格が高騰していることもあり、ホールの設備投資意欲が減退していることです。

——次に貯玉・再プレーシステムですが、ファンの利便性向上に大きな役割を担っています。また、そのシステムを支えているのが貯玉補償基金です。

木原 貯玉・再プレーシステムはホールにとつては顧客の囲い込みができ、ファンにも利便性を高めるシステムとして定着しています。その観点から業界内で普及していますが、一番の問題は預かっている玉やメダルを補償できない事態を避けなければならない点です。仮にシステムを導入するホール企

がホールの多店舗展開を支え になったと自負しています

業が倒産してしまった時に、果たして預かっている玉やメダルはどうなるのか。そうした事態が発生した時にファンに対する補償がなければ社会的な問題に発展しかねません。そこで、システムを製造・販売するメーカーにも責任がありますから、貯玉補償基金への加入を前提に機器を販売するよう組合員にお願いしているところです。現在ではホールにも貯玉補償基金の趣旨を十分に理解してもらい加入率は伸びています。

――不正防止及び排除は業界にとって重要な問題です。自工会でも組合員が販売する自動サービス機

のセキュリティ検査やセキュリティ基準適合シールの貼付などの活動に取り組んでいます。
木原 不正行為には外部不正と内部不正のふたつがありますが、特に問題となるのがゴト師と呼ばれる不正行為をする輩です。そのゴト対策の強化は、周辺設備メーカーにとつては自社製品のセールスポイントとなりますので各社とも真剣に対策を考え、その中で有効な対策が示されれば他社も対抗していきます。まだゴト師との闘いに終わりはありません。しかし不

正対策が確実に日々進歩していることだけは間違いありません。

また、現在は計数機の検査を遊技産業健全化推進機構が行っていますが、製造メーカーとして踏み込んだ対応が難しい中で快く引き受けてもらい感謝しています。今後は不正行為の抑止力として期待しています。

――今年度から古宮理事長が組合の舵を取ります。新体制に対して期待する点はありますか。

木原 古宮理事長は、これまでも組合の役員を務めてきています。そのため組合の活動や業界の流れなどを熟知しています。いずれにしても、周辺設備の産業を維持できなければ自工会の存続もありえませんから、各組合員の努力も必要ですが、厳しい経営環境の中でも1社も脱落することなく今後も発展し続けてほしいと願っています。

――最後に、東遊商の役職も務めていましたが、今後の全商協に期待する点をお話ください。

木原 全商協では遊技機の流通過程における不正防止に日々ご苦労されていますが、やはり不正防止活動の徹底がなければ全商協の存

在意義が問われてしまいます。また、各地区遊商では各組合員に不正防止の教育を積極的に行っていますが、ひとりも不正をする組合員が現れないよう教育の徹底を図る必要があります。今後も全商協が業界にとってなくてはならない団体との認識を再確認して、これからも流通過程での不正防止に務めてください。



自動サービス機
業界発展の一助

第1回理事会

開催日 平成24年5月31日(木)

開催場所 全商協会議室

出席人数 理事本人20名

議題と審議結果・主な報告内容

①臨時総会提出議案について

・関西遊商の笠松義清氏の理事辞任に伴い、役員の補欠選任に関する件を臨時総会提出議案とすることが承認された。

②機械対策委員、事業・広報委員の変更について

・事業・広報委員を笠松義清氏から荒谷博文氏に変更することが承認された。

・機械対策委員を荒谷博文氏から松川博光氏に変更することが承認された。

③各委員会・中古機流通協議会の報告

(1)機械対策委員会

・地区遊商で実施している取扱主任者ペーパー試験を統一することを検討。

・QRシステムの諸問題について協議

・中古・認定の表紙に押印を追加する件について協議。

(2)セキュリティ委員会

・取扱主任者の実技講習試験等の推進について協議。

・ホールの駐車場における子供事故防止に関する活動について協議

・セキュリティ対策委員会で協議されているホールから撤去された遊技機の機歴管理に関する件の経過報告。

(3)リサイクル・環境対策委員会

・クールビズや節電等各地区遊商の環境対策について報告。

(4)中古機流通協議会

・1月から3月の確認証紙の発給状況について報告。

・沖縄県の遊技機入替え自粛の実施に伴う中古機流通について報告。

(5)事務局担当者会議

・QRシステムの変更要望について整理

④第24回通常総会提出議案について

・第24回通常総会議案書(案)が提出され、事務局より決算報告書など会計に関する報告がなされた。

なお、議案については、すべて総会に提出することが承認された。

⑤その他

・9月27日、28日に東北で開催予定の第3回全商協会長杯チャリティ

イーゴルフコンペに来賓を招待する件が承認された。

臨時総会の開催

第1回理事会終了後、臨時総会が開催され、関西遊商・松川博光氏が新たに役員(理事)に選任された。



挨拶を行う関西遊商・松川理事

第2回理事会

開催日 平成24年6月20日(水)

開催場所 KKRホテル東京

出席人数 理事本人21名

議題と審議結果・主な報告内容

①通常総会の進行手順について

・通常総会の進行手順、役割分担等について、各理事に確認を行った。

②各委員会の報告

(1)事業・広報委員会

・関西遊商・荒谷博文氏を副委員長に選出したことを報告。

・9月に開催予定の第3回全商協会長杯チャリティイーゴルフコンペについて報告。

なお、招待予定の来賓に関する費用は、全商協にて負担することが承認された。

(2)機械対策委員会

・QRシステムの改修状況等について報告。

(3)セキュリティ委員会

・セキュリティ対策委員会で協議されているホールから撤去された遊技機の機歴管理に関する件の経過報告。

あの海を 忘れないで

現地からの声として、南三陸町馬場中山地区で今回被災し、馬場中山支援センターで活動している千葉馨氏のレポートをお届けします。

南三陸町馬場中山地区に住んでいる千葉馨です。

馬場中山地区は、住民400人

足らずの、わかめ養殖などの漁業で栄えた普通の小さな東北の集落でした。
しかし、2011年3月11日、生活は一変してしまいました。ほぼ全ての漁船が流され、9割近い家屋が破壊されてしまい、犠牲者も出ました。
馬場中山集落は南三陸町の中でもかなり奥に位置しており、震災

平成24年3月30日に開催された全商協第9回理事会で、東北遊商と関西遊商の両理事長から、東日本大震災で被害を受けた宮城県南三陸町でボランティア活動を行った件が、それぞれ報告された。

東北遊商 高橋理事長からの報告

「3月12日、13日の両日、東北遊商・商社部の組合員が、南三陸町戸倉で、約7坪のユニットハウスを建設するボランティア活動を行いました。このユニットハウスは、木造箱型で『遊友の番屋』と名付けて贈呈しました。今後、ほかの場所にも、建設を続けて行っていく予定です」。



完成を喜ぶ「遊友の番屋」

関西遊商 和久田理事長からの報告

「3月23日夜に大阪難波からバスで南三陸町に向い、24、25日の両日、関西遊商有志25名で、被災地ボランティア活動を行いました。バスには、組合で用意したマスク・長靴・手袋などを積み込み、被災地での瓦礫や泥の撤去作業を丸2日間にわたり、ほかのボランティアの皆さんと共に行いました。慣れない作業で大変でしたが、被災地の復興はまだだと感じ、とても貴重な体験をさせていいただきました。関西遊商では、平成24年度も被災地のボランティア活動を実施する予定です」。



瓦礫の撤去作業をする関西遊商の人たち

両理事長の報告を受け、今後、東北遊商が行う予定のユニットハウス建設のボランティア活動を、



再開できたわかめの養殖

が起こった直後は支援の手もなかなか届かず、震災から1週間以上もの間を、住民だけでなんとか生き抜いていかなければなりません。そんな状況の中、避難所へ集まった人達の、自力で生きていこうとする強い意志や行動力には驚かされました。水産加工会社で事務の仕事をしていていくだけで精一杯でした。震災から10日目くらいからは徐々に支援物資が届き始め、外部からの助けも借りられるようになりました。その時ボランティアに来てくれたある人が、持参してきたパソコンでインターネットをしていたのを見て、力仕事ではまったく貢献できない私は、避難所でホームページを立ち上げようと考えました。ホームページが出来上がると、こ

ちらからの情報発信に対して少しずつ支援の声が上がり、その支援の輪はどんどん広がっていききました。支援物資の提供、高台への避難道をつくるための準備、重機の貸し出し、多くの皆様がボランティアに駆けつけてくださいました。その様子は昨年テレビでも放送されましたので、ご存知の方もいらっしゃるかもしれません。

津波により失ったものも大きかったのですが、津波があったからこそ知ることのできた人の強さや優しさ、知り合うことができた地域の人達やボランティアの皆さんなど、震災によって得られたものも、また大きかったのです。あれから1年以上が経過した現在、わかめの養殖は以前の3分の1程度の規模ですが収穫が行われ、出荷できました。

多くの人たちが、仮設住宅でまだ暮らしています。1年で閉める予定だったホームページも、毎日更新して、もうしばらく続けようと思っています。1000年に1度と言われている大津波を受けた故郷が少しずつ立ち直っていくとするなか、自分は何ができるか、現在も模索しています。

馬場中山支援センター 千葉 馨

全商協でも支援していくとして、平成24年度の予算に概算で250万円を計上することが、理事会で承認された。

達つあんの辛コラム



ガス掛布以来の逸材やとらんどる。高木監督は外野での起用も考えているようやし、十分に起爆剤としての活躍が期待できるね。

7月後半からいよいよロンドン五輪。金メダルを狙う日本人選手の活躍で列島が大いに盛り上がるやろうね。その陰に隠れてしまうかもしれないけど、プロ野球もオースターが終わったその時期からの2か月間はまさにペナントレースの正念場。優勝争いへ向けての熱い戦いから目が離せないから、こちらにも注目してほしいね。

そこで、ちょっと気が早いと思われるかもしれないが、セ、パ両リーグの優勝を独断と偏見で占つてみたい。まずはセ・リーグから。

大方の予想では巨人が優位とされているが、果たしてそうじゃろうか？確かに交流戦での優勝という勢いをそのまま後半戦へ持ち込

めれば巨人が有利だと思える。しかし、私は強そうに見えてそうでもないと思ってるんよ。2連戦の交流戦と違って、公式戦に戻れば6連戦がベース。明らかに調子を落としている沢村が復調できなければ先発ローテーションのやりくりは難しくなる。ゴンザレスや東野が穴を埋められるかがカギやろね。

それに比べて中日にはブッシュ材料がそろつとる。何と言つても前半戦をケガで欠いていた吉見、ネルソンの2枚が完全復調してきたからのう。ソト、川上も加えれば先発候補は10人にもなるんやから夏場のしんどい戦いも涼しい顔で乗り切つてしまふよ。唯一の不安材料は守護神・浅尾の不在じゃけど、これもベテラン岩瀬がカバーするじゃろ。弱点の打線も高卒ルーキーの高橋周が楽しみ。何せ左打者としてはあのミスタータイ

さて、2強に続く台風の目じゃが、ここはヤクルトよりも、おらが広島を推すね。何もえこひいきしとるわけじゃないで。カープには何と言つても大エースのマエケン（前田健太）が君臨しとる。マエケンは今や、あのダルビッシュの域に達しようとしとるよ。実は交流戦後にパ・リーグの監督や主力選手に「マエケンはどうかいのう？」とリサーチしてみたんよ。ほうしたら大半が「打てる気がせんかった。気迫も技術も球界で一番」と答えてくれたからね。

故障者の多いヤクルトよりもマエケンを軸に大竹や野村が元気のいい広島の方が明らかに投手力の上。ミコライオやサファテが控える後ろもしっかりしとるけんね。問題は栗原、ニツクを欠く打線じゃが、ドライバーはなくてもアイアンやウエッジは売り出し中の堂林や梵、天谷らで充実しとる。つまりゴルフで言えばスコアメイクに必要なアプローチ、パターはリーグでもトップクラスというわけまあ、コイの季節は夏場じゃと確信しとるわ。

2強に広島が絡むせに比べると、パ・リーグは混戦模様じゃね。前半戦に最も光つていたロッテには明

らかなかげりが見える。藤岡、グライシンガーや中後に疲れが隠せないのが不安材料じゃ。間違いなく浮上してくるんは西武。昨年も見せたように夏場からの底力はすさまじい。何よりエースの涌井がストッパーとして復活したんは大きい。佑ちゃんの開幕起用で波に乗った日本ハム、昨年の覇者ソフトバンクにも大いにチャンスがある。開幕前に大本命と見られたオリックスは投手力、得点力とも力不足で巻き返しは苦しいと見る。楽天も頑張つとるが守りの要でありチームリーダーでもある嶋の不在が正念場でのダメージになつてしまふそうで評価を下げさせてもろうた。さあ、独断偏見予想がどれだけ当たりますか？五輪もいいけどプロ野球にも注目してくださいよ。

達川 光男●たつかわ・みつお

1955年7月13日、広島県出身、55歳。広島商では73年夏に全国制覇。東洋大を経て78年、ドラフト4位で広島入団。捕手として84、86、88年にベストナイン、ゴールデングラブ賞を獲得するなど活躍し92年に現役引退。95年ダイエーコーチ、98年広島2軍監督を経て、99年から2年間広島監督。03年阪神コーチ。現スポーツ報知野球評論家、フジテレビ・プロ野球解説者として活躍中。

役員さん登場!

パチンコは 1玉4円の商売で 再認識する時期 あることを

美容師から パチンコ業界へ転身

全商協のメンバーの中でも異色の経歴を持つのが小島利幸理事だ。東遊商では常務理事の肩書きを持つ。家業の丸幸商會を継ぐまでの10年間は、美容業界で美容師兼統括マネージャーとして5店舗の運

東遊商の事務局へ出勤するのが日課となっている丸幸商會の小島利幸社長は、東遊商では常務理事の肩書きを持つほか、事業委員長や機械対策委員も務める。東遊商の海外研修は小島氏が事業委員長として研修内容を吟味し、企画を立てている。

全商協理事・東遊商常務理事

小島利幸

営・管理に手腕を振るっていた。店は東京・中野にあった。自身は顧客を200人ほど抱えていた。お一人様2万円ほどの高級美容室だった。

アメリカで美容の勉強をした。当時のアメリカでは弁護士よりも美容師の地位が高い、といわれていた。なぜなら、美容経営者はセレクト客を沢山抱えつながらがあるので、ステータスが高かった。

そんな美容業界に誇りを持っていた。美容業界で生きていくつもりだったが、父親の右腕として会社を支えてい

た専務が病に倒れたために急きょ呼び戻された。平成元年のことだった。日本のバブル経済が弾けた年で、土地と株のマネーゲームに狂騒していた会社や個人投資家が消えた。平成元年のパチンコ業界の市場規模は約15兆円だったが、30兆円産業へ駆け上がるとは口だった。

「私が生まれた時にはすでに中古機の洗いと販売をしていました。小学校の高学年のころから仕事は手伝っていました。昔の機械は軽かったので、小学生の私でも2台は抱えていましたね。搬入でホールへ行くと子供だったので店の人に可愛がられ、必ず何かもらっていましたね」と振り返る。

実家の手伝いは高校を卒業するまで続いたが、家業に魅力を感じることはなく美容師の道に進んだ。家業を継ぐ決断をすると思いも未練もなかった。入社と同時に営業を担当した。ズタ袋に全メーカーのカタログを入れて、中古機と新台の営業をした。

「それまでは女性客しか対応したことがなかったのですが、ホール営業をやってみるといかにうまい方が出てきて面食らいました。でも話

してみると全然優しい。美容業界では指名客をいかにして獲得するかが重要ですから、一番学んだのが人と触れ合う接客です。だから営業に出ることはまったく苦ではありませんでした」

平成18年11月1日から丸幸商会の代表取締役就任する。中古機販売を主流にやってきたが中古機ネット時代になって商売がやりにくくなったことは確か。昔は完全にクローズドな世界で、ある販社が付けた値段を基に中古機価格が決まった。

「厳しくなったとはいえ、他業界から見るとパチンコ業界はまだいい、といわれるが、われわれはこの業界の中にずっといるので、それが分からない。でも井の中の蛙ではダメ」と戒める。

東遊商では 事業委員長として 海外研修を企画

小島常務の1日は上野にある東遊商の事務局へ出勤することから始まる。事業委員会と機械対策委員会の仕事以外に執行部役員のスケジュール管理まで行っているからだ。朝から夜まで東遊商の事務

手先が器用で美的センスもあることからアメリカで美容の勉強をして、かつては美容師として女性のヘア・スタイルを追求した異色の経歴の持ち主。東遊商では常務理事としてイベント事をすべて仕切る運営のトップとして活躍している。趣味は絵画。優美な色彩とエレガントな雰囲気の世界中のファンに愛されているフランス画壇の誇る巨匠ジャン・ピエール・カシニョールの作品を特に愛しているという。ソフトな物腰、気配りのあるジェントルマンでもある。

役員さん
登場!



TOSHIYUKI
KOJIMA

東日本遊商 小島利幸理事トリビア

血液型	B型
座右の銘	陰徳陽報
好きな絵画	カシニョール
好きな色	なし
好きな音楽	ジャズ
好きなスポーツ選手	なし
好きなタレント	なし
好きな歴史上の人物	なし
カラオケ十八番	歌いません
趣味	スキューバダイビング ゴルフ
将来の夢	なし

局でみっちり仕事をすることも珍しくない。自社の仕事は報告を聞いて指示を出す程度で、ほぼ組合の仕事に軸足を移している。

スーツの襟元には「EPA」ロゴマークが入った組合章とオレンジリボンが光る。このオレンジリボンは子供虐待のない社会の実現を目指すオレンジリボン運動で、東遊商が社会貢献活動の一環として、今年から支援している団体のものだ。組合のバッジや支援先のリボンを付けている姿に、東遊商役員としての決意が感じられる。

東遊商では毎年、組合員の海外研修をラスベガスで行っている。昨年は東日本大震災が起こったために順延となっていた分が今年3月に実施された。

3月のテーマは「自己啓発とコンプライアンス」。毎回テーマを決めてラスベガスでどういう研修を行うか、その中身を決めるのが、小島事業委員長の役割となる。

「ラスベガスで一番最初に誕生したカジノホテルがフラミングゴです。それまでは小規模なカジノしかなかったラスベガスに、ハリウッドの洗練された豪華ホテルが建てられ、そこからラスベガス発展の歴史



史がはじまりました。映画を見てラスベガスの歴史を学び、その後はダウンタウンのカジ

ノを体験して、こういうところが良かったかを話し合いました。人種の垣塙といわれるアメリカではコンプライアンスがないと、棲み分けができません。そういうコンプライアンスを肌で体感してもらいたかった。スケジュールが一杯でフリータイムは1日しかなくて、申し訳なく思っています」

ラスベガス研修はすでに10年以上も実施している。毎年違った切り口でラスベガスへ行くので新たな発見がある。同じ場所へ10年以上も続けていくと、組合員各社とも一般社員が参加して勉強の場となっているのが、この海外研修の特徴でもある。

床に落ちている玉が利益だという考え

全商協ではセキュリティー委員会に所属する。顔認証システムが

全単組に採用されたことで、遊技機取扱主任者の資格がない者が点検確認作業をすることはできなくなった。後は点検27項目の技術レベルを全国的に引き上げることが求められる。

「全商協で一定のレベルを決め、全単組がその技術レベルに合わせる必要があります。このレベルは点検しなくてもいいだろう、と安易に考えすぎていると業界全体がなくなってしまう」と危機感を募らせる。

販社の存続問題とも切り離せないECO遊技機の問題も浮上してきた。日工組からホール5団体へシステムの概要説明が行われたが、詳細はまだ見えてこない。CR機が登場した時は確変が認められてユーザーにもメリットがあったが、ECO遊技機はセキュリティー強化が大きな柱で、ECO遊技機の普及に伴い設備機器メーカーには大きな影響を受けるところも出てくる。

「私は古い人間なので玉は出て楽しむものという考えがあります。ラスベガスでもダウンタウンのカジノでは1セントコインが出てくる。あの玉を触る、コインを触る

感触は捨てがたいものがある。

全国的に稼働が低迷する4円パチンコ。新規オープンしたホールが4円でオープンしたもの、ほとんど客が付かず、1か月も経たずに1パチにするケースも出てきている。顧客を増やすことも業界の課題だが、こう考える。

「投資を少なくして、遊ぶ時間を長くしたいという傾向は顕著に現れています。昔の機械は1万円投資して8000円返ってくる感覚で、1万円ですぐに1時間は遊べた。それぐらいのレベルの機械が必要になってくる。かつてメーカーの社長から『床に落ちている玉が利益』と教わったことがあります。パチンコとは1玉4円の商売だということを皆さんが再認識することではないでしょうか」

※

10年前から始めたスキューバダイビング。最近は体調を崩して遠ざかっているが、ライセンスを取ったハワイの遠浅でカクテルブルーの海の色に魅せられた一人である。

東遊商が 50周年記念式典を開催

東日本遊技機商業協同組合（中村昌勇理事長）は創立50周年記念式典を開催
多くの来賓・関係者とともに更なる飛躍を祈念した

石橋保彦 榊平和社長（当時）

深谷友尋 日遊協会長

原田実 全日遊連理事長（当時）



あいさつする中村理事長



歴代理事長が揃い全員による三本締め

「百尺竿頭二歩を進む」 組合の更なる飛躍を

東 日本遊技機商業協同組合は5月11日、都内港区台場のホテル日航東京において創立50周年の記念式典を開催した。昭和36年に設立された東遊商は、本来ならば昨年が組合設立50年目にあたるが、同年3月に起きた東日本大震災に配慮して記念行事を先送りしていた。

式典の冒頭に挨拶した中村昌勇理事長は、これまでの50年の社会の移り変わりや業界の変遷を辿りながら東遊商の歴史を回顧する中で、最も重要な出来事として平成12年にスタートした中古遊技機流通事業制度の確立を挙げた。「これにより遊技機取扱主任者が点検確認を行うことで保証書を作成することができるようになり、中古遊技機の取引が活性化した」と振り返った中村理事長は、さらに「この中古機事業を未来永劫、次世代に引き継いでいくため、我々は更なる進化に向け取り組まなくてはならない」として、取扱主任者の育成や新たな研修制度の確立を今後のテーマとして挙げるとともに、



長野県遊協青松理事長の乾杯のあいさつ

江戸消防記念会による木遣りと梯子乗り



東京藝大OBによるアンサンブルオーケストラ演奏



宮田亮平 東京藝術大学学長

『努力を重ねて高い目標に到達しても、さらに努力して工夫を加える』という意味の諺「百尺竿頭一歩を進む」を引用し、節目を迎えた組合の更なる飛躍を祈念した。

**多くの来賓・関係者が
臨席する中で
多彩かつ盛大な催し**

記念式典は、東京藝術大学の宮田亮平学長による「ときめく瞬間」と題した講演、藝大OBで編成したアンサンブルオーケストラによる演奏、ホテルの宴会場を高級クラブ風に演出した「CLUB TOYUSHO」でのショウタイム、ディナーパーティーという多彩な内容となった。中でもディナーパーティーは、来賓全員による盛大な鏡開き、江戸消防記念会による木遣りと梯子乗り、「吾亦紅（われもこう）」で知られる、すぎもとまさとの氏のライブなど華やかな催しが多数行われた。

記念式典には、東京都遊協の原田實理事長（当時）、日遊協の深谷友尋会長、（株）平和の石橋保彦社長（当時）、長野県遊協の青松英和理事長を始めとする多数の業界関係者が来賓として臨席した。

東北遊商

開催日 平成24年5月18日
開催場所 ホテルニュー水戸屋
出席人数 73人

高橋理事長は、総会挨拶で低賃玉営業など最近の遊技業界の動向について報告したあと、次のように力強く意見を述べた。

「一部の取扱主任者の誤った認識による行為が、業界全体で構築している制度を破壊するような案件が発生しています。中古機流通事業は、我々販社にとりましては、生業の根源です。ルールを遵守した商活動に努め、東北から意識の低い業者がでないことを切望します。東北遊商理事一同は、業界情勢や地域の業界環境を的確に把握し、『地域とともに、社会とともに』を念頭に、地域業界の繁栄に寄与していく考えです。組合員の皆様は、適正・適法の精神で臨み、組合員相互の連携連帯を深め、企業活動に反映させて下さい」。

遊技機商業協



北遊商

開催日 平成24年5月18日
開催場所 豊別グランドホテル
出席人数 48人

遠藤理事長は、次のように挨拶を行った。

「4月1日より新システムである顔認証システムを運用することとなりました。顔認証システムにより事故・事件を未然に防ぐ事が可能となり、適正な中古機流通制度が円滑に運用できると思います。そのため、新システムを運用していくことは、中古機流通に携わる全ての従業員の業務における意識向上に繋がると考えられます。次に原発の停止によって、北海道でも電力不足が発生する可能性があるため、道内のパチンコ営業に関して節電が求められるかもしれません。そのため業界における取り組みが今まで以上に求められる年となることでしょう。」

さらに昨今、中小企業は依然厳しい状況が続いておりますが、皆様の永年の経験と実績を活かし努力されることにより、景気を呼び戻し不況を乗り越えられますよう心から願っております」。



総会特集 Vol.6

中国遊商

開催日 平成24年5月17日
開催場所 ANAクラウンプラザホテル広島
出席人数 75人

東日本大震災や最近の自然災害などに触れ、松原理事長はつぎのように挨拶を行った。

「平成23年度の確認証紙の発行枚数は、全国で約140万枚、ピーク時に比べると約78パーセントです。また、平成23年度末のぱちんこ遊技機設置店数も、全国で約1万1000店、こちらもピーク時に比べると、約61パーセントです。新台の販売台数の減少や店舗数の減少などが、中古機流通市場の遊技機取扱量にも影響を及ぼしております。更に昨年は、QRの偽造や点検確認の未実施による書類作成など、中古機流通制度の根幹を揺るがすような重大な違反事案も発生しています。私たちは、こうした厳しい情勢の中にあって、更なる遊技業界の健全化に努め、中古機流通制度の確立に向けて取り組んでいきます。また、東日本大震災の復興支援や地域に密着した社会貢献、ボランティア活動などにも積極的に取り組んでいきますので、ご協力をお願いします」。



関西遊商

開催日 平成24年5月29日
開催場所 ホテル日航大阪
出席人数 137人

和久田理事長は、職務を1年間務めることができた謝辞を述べた後、つぎのように挨拶を行った。

「平成23年度の中古遊技機の移動実績は、123万台と1昨年に比べ、減少傾向にあります。また、警察庁の『風営白書』によりますとパチンコ店も1万1392店と1昨年より約180店減少した模様です。このような数字が示しますように、遊技業界を取り巻く環境は厳しく、一向に回復の兆しが見えておりません。組合員の皆様も、その経営環境は厳しく、たゆまぬ経営努力が続けられているものと思います。組合といたしましても、定款に謳われている設立目的と事業内容を再確認し、先程の代表者研修会で報告しました内容に限らず、解決すべき課題の一つひとつ取り組んでいきたいと思っております」。



中部遊商

開催日 平成24年5月25日
開催場所 名古屋観光ホテル
出席人数 83人（内委任出席22人）

安藤理事長は、東日本大震災の影響、ヨーロッパの金融危機などに触れたあと、つぎのように挨拶をした。

「少子化の問題、デフレの問題、カジノの問題あるいは消費税、数え上げればきりが無いぐらいの問題があります。そうした中でも我々が60数年も前から作り上げてきたパチンコ産業をそのまま無くしてはいけない、我々が一致団結をしてさらなる飛躍の年にしたい思いでいっぱいです。中部遊商としましては、研修会等の実施を含めまして、中古機の流通制度を堅持していく事が、我々の生きる道だと言っても過言ではありません。また、エコパチ等新たな物が出てくるとも聞いておりますが、これはまだ、どのような動きになるか聞いていません。我々としては保証書が書ける資格を失われない様に、日々努力を続けるという事にしようと思います」。



東遊商

開催日 平成24年5月11日
開催場所 ホテル日航東京
出席人数 260人

冒頭挨拶で中村理事長は、昨年度に発生したQRコードの偽造、打刻書類の偽造など中古機流通の不正事例を上げ、つぎのように組合員に強く要望した。

「10年以上かけて積み重ねてきた行政・ホールとの信頼関係が、一部の組合員の気の緩みから簡単に崩れてしまい、ひいては制度自体も崩壊しかねない状況となっており、中古機流通制度が、良い意味でも悪い意味でも注目されている。もし、中古機流通制度がなくなれば、我々版社だけの問題に留まらない。組合員の皆様には、従業員の管理、取引ホールとのやり取りの再確認など、制度の厳格な運用をお願いしたい」。

総会では平成23年度決算報告、役員の補充、平成24年度事業計画及び収支予算案について上程・承認されて終了した。



地区遊商だより

九州遊商

開催日 平成24年5月23日
開催場所 ホテルオークラ福岡
出席人数 149人（委任出席含む）

冒頭挨拶で石山理事長は、つぎのように述べた。
「東日本大震災を機に、一部の国民は、ばちんこ業界に対して残念な感情を抱いている。しかし、このことを真摯に受け止め、業界を挙げて、真の娯楽産業を目指さなければならない。また、産業の規模に見合った社会的責任を果たさなければならない。九州遊商としても、東日本大震災への支援は言うに及ばず、身近な社会貢献活動を通して、その責任を果たしていきたい。そして、業界から委嘱された中古機流通制度については、我々にとってもホール経営者にとっても重要な制度であり、なんとしても死守しなければならない。我々による制度運用に対する信頼を高めるために、新たに導入した顔認証システムや遊技機取扱主任者の実技研修制度に協力して頂きたい」。



四国遊商

開催日 平成24年5月17日
開催場所 高松国際ホテル
出席人数 55人（内委任出席6人）

日野理事長は、総会挨拶の中で次のように述べた。
「東日本大震災や原発事故による影響は、一年が経過した今でも大きく残り、自然災害はいつ、どこで襲ってくるかも分からない恐怖を、私たちに植え付けました。また、自動車事故の悲惨なニュースは、他人事ではありません。我々の仕事は、深夜に及ぶ事が多々あります。どうか計画的な移動時間を組んで、毎日が無事故で仕事に励んで頂きたいと思います。組合の重点事業である中古機流通は、一件あたりの取引台数が極端に減ってきており、今期は我々の予想をはるかに超える、厳しい状況が待っているかもしれません。耐えきれず、ルールを守れない行為に手を染める事は、絶対にしないで下さい。組合理念でもある『相互扶助の精神』が、我々四国遊商の根っこであります。このような時代こそ、組合と組合員がお互い声をかけ合って、厳しい状況を乗り越えていかなければならないと思います」。



「環境フォーラム+もっと楽しく!!パチンコ&パチスロフェスタ」開催

エネ化を推進する商品を紹介した。一方セミナーは、「警察庁・行政講話」「夏季の節電行動計画」「健康ばちこ&のめり込み予防セミナー」などといったテーマで行われ、会場の他に1階のステージにも映像が同時放映された。さらに、「遊技機アワード2012」の発表が行われ、ぱちんこはマックスタイプ、ミドルタイプなど4部門の上位5機種、パチスロはAタイプなど2部門の上位5機種が、それぞれ表彰された。(左表参照)

平成24年6月1、2日の2日間にわたり、(社)日遊協が主催し、全商協を含む業界13団体が後援した「環境フォーラム+もっと楽しく!!パチンコ&パチスロフェスタ2012 in 東京」がベルサール秋葉原(東京都千代田区)で開催された。

同時上映された各種セミナー

1階の会場には、最新のパチンコ・パチスロ各36台、コーナーを分けて試作機(コンセプト機)パチンコ17台、パチスロ31台、パロット2台、じゃん球2台が設置され、多くの来場者でにぎわった。

このフェスタの目的は、ファンの方々に日頃感じている事、どうして遊技をしなくなったのかといったアンケート調査を実施し、今後の遊技機の開発に役立てることだ。

多くの来場者が遊技を楽しんだ



会場案内をする和久田理事長

遊技機アワード上位5機種

マックスタイプ部門 (1/300~)

順位	機種名	メーカー
1	CRリング〜呪いの7日間〜 FPF	㈱藤商事
2	CR花の慶次〜焔 L2-V	㈱ニューギン
3	CR聖闘士星矢 黄金	㈱三洋物産
4	ぱちんこCR北斗の拳百裂	サミー(株)
5	CR地獄少女 FPH	㈱藤商事

ミドルタイプ部門 (1/140~299)

1	CRびっくりばちんこ 銭形平次withチームZ	京楽産業(株)
2	CR南国育ちin沖縄M7AX	㈱平和
3	CRリング〜呪いの7日間〜FPS	㈱藤商事
4	CR戦国乙女2M9AX	㈱平和
5	CRラブ嬢〜ご延長の方はいかがないますか?〜L4AU	㈱平和

遊パチタイプ部門 (~1/139)

1	CRA新海物語Withアグネス・ラムSAG	㈱三洋物産
2	デジハネCR北斗の拳 慈母	サミー(株)
3	CR南国麻雀W	奥村遊機(株)
4	CRAプレミアム海物語〜ぼのぼの遊びに来たよ〜	㈱三洋物産
5	CRA戦国乙女2 9AX	㈱平和

羽根物・その他部門

1	CRAタイムボカンV	㈱アムテックス
2	CR超古代文明モアイDEN	タイヨーエレック(株)
3	CR鉄火ばあば	㈱アムテックス
4	CRAフェニックス10	㈱P-CUBE

Aタイプ部門

1	アイムジャグラーAPEX	㈱北電子
2	キングハナハナ30	㈱バイオニア
3	パチスロスーパー海物語IN沖縄	㈱三洋物産
4	ミラクルジャグラー-K	㈱北電子
5	シスタークエスト2〜魔剣の騎士と白銀の巫女〜	㈱SNKプレイモア

Aタイプ以外部門

1	押忍!番長2	㈱大都技研
2	パチスロ「モンキーターン」	山佐(株)
3	パチスロ北斗の拳 世紀末救世主伝説	サミー(株)
4	ミリオンゴッド〜神々の系譜〜	㈱ミズホ
5	ハネスロ リラクマ	㈱オーイズミ

1日目は、業界関係者を招き、環境フォーラムやセミナーも地下1階会場で行われ、LED照明や分煙システム等を扱う15社がブースを設け、パチンコホールの節電・省

興味ぶかげに試打を行っていた。

関西遊商・和久田理事長も日遊協・遊技機開発委員会委員として、会場の案内や機材の搬入などの設営作業をサポートした。

入場者数は、1日目2143人、2日目2483人。(日遊協発表)

編集後記

■今年はオリンピック年ということで、五輪商戦が活発になってもよさそうだが、どうも今回の「ロンドン五輪」は様子がおかしい。それというのも、世界の経済状況は相変わらず先行き不透明感が漂っているばかりか、ユーロ財政危機が続く欧州の不安定な経済状況が微妙な影響を残しているからなのか。それでも五輪特需への期待感はお膝元の英国をはじめ、スポーツの盛んな国々では高まるに違いない。特に五輪大好きな日本人だけに、観戦ツアーをはじめスポーツ用品、スポーツ専門店、スポーツクラブ等への経済効果も期待され、メディアの関心も高まるわけだ。

■ロンドン五輪開幕まであと1か月という時点での話題は、各国の五輪代表選考会で誰が選ばれたか、あるいはメダル候補だった有名選手が落選したとか、各競技種目での選手たちの動向に注目が集まっている。今回のロンドン五輪が日本にとって五輪参加100周年の節目に当たるといことで、日本選手団の陣容も気になるところ。日本オリンピック委員会では、金メダル獲得数で、世界5位を目標に定め、代表選手たちの活躍に望みをかけているとのこと。メダル獲得の期待がかかる競技種目としては、柔道、レスリング、体操、競泳、陸上、そしてサッカーも有望視されている。代表選手たちの奮起を期待して、TV観戦で注目してみよう。

■英国内での話題といえば、やはり何と言っても「聖火リレー最終走者の人選」だろう。その関心の高さはマスメディアを中心に次第にヒートアップしている。ロンドン五輪開会式(7月27日)で、聖火リレー最終走者という名誉ある大役を務める選手が誰なのか、ロンドンっ子ならずとも、気になるころではある。当分は夢舞台の主役を巡るスcoop合戦に火花を散らすことになりそう。どんなサプライズが待っているのか、ブックメーカー(賭け屋)もサッカーのベッカム選手など有力視される選手の名前を挙げるなど話題を提供、さすが英国ならではの盛り上げぶり、ロンドンは64年ぶりのスポーツの祭典を待ち受けている。(S)

NEWS

全商協発給の確認証紙は 前年度比90%となる

平成23年度(日23年4月～日24年3月)に全商協が発給した確認証紙(中古用)は123万9386枚。平成22年度は137万4577枚のため、13万5191枚のマイナス(前年度比90%)となった。

確認証紙(認定用)は16万5533枚で、こちらは13万2227枚のプラス(前年度比568%)と大幅に増加した。

昨年は3月11日に発生した東日本大震災の影響があり、翌4月は前年同月比で68%と落ち込んだが、6月には103%まで回復。その後は80%前後で推移しながら10月には153%と大幅な伸びをみせ、期末までは前年に近い水準で推移した。

PSの証紙発給は揃って増加 日電協は倍増と復調が続く

昨年3月11日に発生した東日本大震災の影響があったものの、日電組が平成23年度に発給したパチンコ証紙は前年度比約20万枚増の約276万枚(うち遊技盤は約124万枚)。発給枚数は平成21年度から連続で減少していたが、2年振りに増加に転じた。

また、同組合加盟メーカーによるパチスロの証紙発給枚数は前年度比5万枚減の約21万枚。

一方、日電協が平成23年度に発給したパチスロ機証紙は前年度比53・8%増の97万6287枚と倍増した。昨年度は年末に向け大型タイトルが発表されたこともあり、回復基調を継続するパチスロでも証紙発給枚数が増加した。

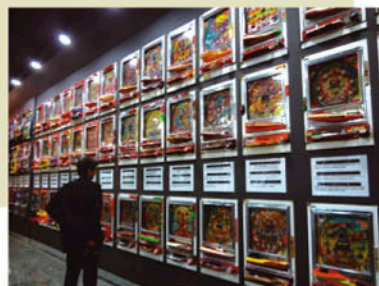
「パチンコ博物館」が 再オープン

平成24年6月28日、千葉県旭市で、「パチンコ博物館」再オープンのプレス発表が行われた。博物館の規模は、以前上野にあった「パチンコ博物館」の約3倍、パチンコ254台、パチスロ126台、合計380台が展示されている。

再開館を支援した(株)NPI総研、ヤワタグループ会長の八幡正毅氏は「業界で働く若い皆さんに、パチンコの歴史を文化として正しく伝えたい。セミナーなど教育の一つとして今後活用してほしい」と会見で熱く語った。

正式オープンは、8月上旬を予定。

開館は毎週日曜 午前11時～午後4時
JR総武本線 旭駅からタクシーで5分



次号は10月号です。
「チャリティー活動と社会貢献」ほかを
掲載予定です。



<http://www.zenshokyo.jp/>